

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H27取組概要

早稲田大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

AIMS7 多言語・多文化共生プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

世界益とともに地球益を追求し、国際舞台で活躍できるコスモポリタン(グローバルな視点を持ち、「Global」「Regional」「National」「Local」のどの場においても課題解決に貢献できる人材)。

【構想の概要】

早稲田大学とASEANのコア・パートナー大学6校(マラヤ大学、インドネシア大学、チュラーロンコーン大学、タマサート大学、デ・ラ・サール大学、ブルネイ・ダルサラーム大学)とアソシエート・パートナー大学2校(ビーナス大学、ウタラ・マレーシア大学)が提携してコンソーシアムを立ち上げ、「多言語・多文化共生プログラム」を開設する。

■ 交流プログラムの質の保証

- ・国際教養学部以外の他学部設置科目を増やし、幅広い科目選択が実現可能に
- ・新たにマレー語を設置し、休講していたフィリピン語を開講し、タイ語、インドネシア語と併せて全ての現地語科目履修が可能に
- ・プログラムに関するインタビュー記事の新聞掲載、留学を終えた派遣学生のインタビュービデオの作成、プログラム参加学生の留学報告書の制作、既存HPの修正、パンナー作成、FacebookやYouTubeを利用した活動報告を行うなど広報活動を強化
- ・大学としてASEAN University Network (AUN) へ準会員として加入し派遣学生の単位認定システムとして、ASEAN Credit Transfer System (ACTS) を活用
- ・合同教職員会議にてパートナー大学の教職員とカリキュラム委員会・人材育成委員会・プログラム委員会を開催
- ・ASEANのパートナー校にて学生会議を開催し、プログラムの集大成として参加学生の研究内容と学習成果を発表
- ・付加価値プログラム(インターンシップ・ボランティア・フィールドワーク)の新規開拓
- ・プログラムの進捗について第三者により評価を受け、向上に向けた課題を検証するため、国内外の有識者を外部評価委員として委嘱し、外部評価委員会を実施
- ・元ASEAN事務局長の講演会を開催し、ASEANと日本の関係性についての講義を受講
- ・プログラム参加学生による留学報告会を開催し、学生の英語および現地語能力の向上、学習成果を確認
- ・AIMS修了証書授与式を実施し、カリキュラムで定められた32単位を取得した学生へ、修了証書を授与
- ・日本で開催されたAIMSレビューミーティングに参加し、AIMSプログラム採択校とプログラムを実施する中での問題点や今後の課題を共有、また国内外の大学とネットワークを構築

■ 交流プログラムの内容

	春学期	秋学期	春学期	AIMS7学生会議
早稲田大学	事前学習@早稲田 専門科目 現地語科目	留学@ASEAN 専門科目 現地語科目	専門科目・現地語科目、共同ゼミ@早稲田	ASEANのいずれかのパートナー大学にて、プログラムの集大成として学生会議を行う
パートナー大学 ◆コア・パートナー ◆アソシエート・パートナー	事前学習@ASEAN	留学・共同ゼミ@早稲田		

～付加価値プログラムとしてのインターンシップ・ボランティア・フィールドワーク～

染料を輸出入する会社でのインターンシップ(マレーシア)、アプリケーション開発会社でのインターンシップ(インドネシア)、ASEANに関するWebマガジン制作会社でのインターンシップ(タイ)、日経企業進出に際する現地でのマーケティングサポート(タイ)、AIMS学生と早稲田大学国際コミュニティセンターによるASEAN文化紹介イベント、早稲田大学本庄高等学院の生徒と英語による交流学習、農家での農業体験、共同ゼミ毎のフィールドワーク(模擬国連、京都外国語大学との合同合宿、歴史的産業施設の見学)。金融機関でインドネシアでの事業展開に関するワークショップ、新聞社でのワークショップ、外国の文化を紹介するイベントでのゲストスピーカー、短期ホームステイプログラムなどを実施

学習分野: 社会言語学、言語政策、地政学、国際関係、歴史学、安全保障論、人類学、民俗学、カルチュラル・スタディーズ、文明論、比較宗教学、都市論、環境論、国際ビジネス、経済学

現地語: 派遣学生はインドネシア語、タイ語、マレー語、フィリピン語より選択して履修。受入学生は日本語が必修

※合計で32単位を修得した派遣学生にAIMS修了証書授与式でAIMS修了証書、受入学生にはAIMS参加証書を授与

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注)H27までは実績、H28以降は計画

	H25					H26					H27					H28					H29				
	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B	M	I	T	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	8	3	6	3	5	4	5	10	2	4	5	5	9	2	4	5	5	8	2	5
学生の受入	0					4	5	0	0	1	4	6	6	5	11	25					25				

M:マレーシア I:インドネシア T:タイ V:ベトナム P:フィリピン B:ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

(受入) 秋学期特別受入の実施、イスラム教に配慮した宿舍の手配や学内での祈禱場所の確保、指定寄付金を財源とした奨学金の運用開始、Welcome Partyをはじめとする交流イベント、各種オリエンテーションの実施、ビザサポートと在留資格の管理、区役所での住民登録等手続きの引率、短期ホームステイプログラムの実施

(共通)

国別のアカデミック・メンターによるアドバイジング、インターンシップ・ボランティア・フィールドワークの開拓、共同ゼミの開始、バディシステムの導入、AIMS7学生会議の開催、アジアを対象としたニュースマガジン(冊子・オンライン)の無料購読サービスを提供

(派遣) 学内の留学フェアにて説明会・ブースでの個別相談、出発前の国別オリエンテーション、ASEANに関する講演会の実施、Welcome Back Partyなどの交流会、24時間体制の海外旅行保険サポート、海外用携帯電話の配付、シンガポール及びタイの海外拠点を通じた危機管理サポート、AIMSポートフォリオを活用した語学力の効果測定と派遣学生の交流、緊急時の安否確認